

# 我が町のキラキラ人(ひと)

歌声で子どもたちを育てる

元魚町一丁目 竹田 朋代

私は夫と共に長年音楽教育に携わって来ました。我が子はヴァイオリン、サクソフオンで東京藝術大学を卒業しプロになりましたし、地元の教え子も数え切れません。

還暦を過ぎ、今後我々の出来ることを話し合っているうち、音楽の根本「歌うこと」の原点に返る事が重要であると、子どもサークルを立ち上げることにしました。子どもは小さい内に習慣的に歌うことで、音感や音程のみならず右脳の発達著しいです。早速募集チラシ、練習会場探し等奮闘し、今年5月に発足したのが【歌う子どもたち♪とっとり】です。定期的にサークル活動ができる会場がなく苦慮していましたが、遷喬地区内のルーテル教会が快く練習場所を提



【歌う子どもたち♪とっとり】は幼児対象。月2回の土曜日。ルーテル教会チャペルにていつでも見学OK。24-1977 竹田篤司まで

供していただきました。現在、幼児やその親子など二十人程でコダーイメソッドを本手で“ハンドサイン”を活用しながら楽しく活動しています。

十一月十日には市民会館で催された「久松山麓合唱祭」にデビュー出演いたしました。子どもたちにとって、日常生活では得られないステージ上からの風景、そして暖かい拍手で見守られる感覚は、一生の思い出となつて行くでしょう。我々は今後も、子どもたちの歌声を育てる活動を通して成長の一端を担えたらと思っています。



## 鳥取の空に大彗星がやってきた

桶屋町 八木谷 祐一

令和6年10月TV、新聞等で紫金山(しきんざん)、またはツーチンシヤン)・アトラス彗星という大彗星が紹介されました。ご覧になった方も多かったと思います。長い尾を引いた姿は鳥取市内からでも肉眼でもみえましたので、夕方の山陰海岸はこの大彗星が水平線に沈むまで見ようと多くの皆さんが集まっていました。

日本では、ほうき星と呼ばれていますが彗星の正体がわからなかった大昔は、不吉なことが起こる前ぶれとして恐れられていました。しかし、彗星の正体はとても大きな汚れた雪だるまとお考え下さい。その大きな雪だ

### 紫金山・アストラ彗星

撮影日：2024年10月13日  
18時30分  
撮影場所：山陰海岸  
レンズ：200mm望遠レンズ



これが巨大な汚れた雪ダルマ、彗星の中心です  
飛行機  
太陽の熱風が彗星に向かって吹いているので、汚れた雪ダルマが溶けて長い尾を引く  
※太陽は水平線のはるか下なので、日が暮れかかっている時間なのです

るまが遠い宇宙空間から太陽に近づいてくると、太陽の熱と風で雪だるまが溶けて長い竹ぼうきのような夜空に見えることが分かった。今では、人々の目を楽しませてくれる天体となつていきます。魔女が竹ぼうきにまたがって飛んでいるような姿です。  
今回のような肉眼で見える彗星は何年かに一度やってきますので、遷喬小学校の校庭で皆さんが集まってみえる時が来るといいですね。「すいせい」と呼ばれるものは二つあります。今回はほうき星の彗星のお話でしたが、もう一つの水星は惑星の仲間です。間違えそうになりますね。

